

全国訪問教育研究会

第33回全国大会（沖縄）開催要項概要

2020年4月20日

■大会テーマ■

「一人ひとりのいのちが輝く教育をめざして～^{ゆい}結 つながろう つなげよう～」

■開催日時■

2021年2月20日（土）13時 ～21日（日）12時15分

■会場■

パシフィックホテル沖縄
沖縄県那覇市西3丁目6番1号 TEL:098-868-5162 FAX:098-868-8876

■主催■

全国訪問教育研究会 沖縄県訪問教育研究会

■後援■（申請中を含む）

文部科学省・厚生労働省
全国特別支援教育推進連盟・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会
社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会
全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
沖縄県教育委員会・沖縄県特別支援学校校長会・沖縄県訪問教育親の会
小児在宅医療基金ていんさぐの会

■協賛■

一般社団法人Kukuru・パシフィックホテル沖縄

■特別協力■

沖縄県

■大会日程■

2月20日（土）		2月21日（日）	
12:00	開場・受付開始 分科会打ち合わせ	9:00	開場・受付開始
13:00	分科会	9:30	全訪研総会
16:30	分科会終了	10:00	全体会・シンポジウム
16:40	共同研究者・役員懇談（～17:40）	12:00	閉会集会
18:00	全国交流会（～20:00）	12:15	全体会終了

※2/21 午後に、平和学習に関する内容のオプションツアー（3時間程度）を計画中です。

■内容■

(1) 分科会 (2/20 13:00~16:30)

分科会名	分科会のねらい
①健康・身体づくり	障害が重く、日常的にさまざまな健康管理の必要な子どもに対する関わりについて考えます。呼吸・摂食・排泄・運動動作などの指導について、講義・実践を交えながら交流しましょう。
②コミュニケーション	重度・複障害児のコミュニケーションを育てるための支援や配慮について、訪問での教育実践について交流しましょう。それぞれの発達段階にある子どもを丁寧に観察、その主体的な反応を活用して主体的・対話的な学びを深める視点から、幅広く協議・討議をしましょう。
③授業づくりと教育課程	障害が重く、限られた環境・条件の中での授業づくりは、誰しも悩むところだと思います。貴重な経験や工夫を交流しあって共有の財産としましょう。訪問での実践内容、また、青年期に入っている生徒への実践についても、「あそび」から発展した「文化」という視点から幅広く討議しましょう。 ☆分科会内で教材紹介の時間を設けます。おすすめの教材があれば、持ってきてください。
④病気療養児の教育	“生きる力を育む”いのちの輝く教育を求めて、病気療養児の教育内容・方法や、院内学級・分教室・病院内訪問教育の実践を深めていきましょう。
⑤教育と地域での生活支援 —医療・福祉・教育の連携	子どもたちの学びと生活を豊かにするためには、「地域の中で生きる」視点での生活支援、卒業後の進路を見通した指導、アフターケア、社会参加など、地域支援のネットワークづくりが大切になっています。医療的ケアを必要とする障害の重い子どもたち、内部疾患のある子どもたちなど、様々な障害のある子どもたちの就学前から在学中、卒業後までの教育と地域での生活を考えていきましょう。

●分科会レポートの申込みについて

分科会でのレポート発表を希望される方は、次の①～⑤について、レポート担当宛に連絡をお願いします。レポート担当者より、印刷部数やレポート送付先を連絡します。

- ①分科会名・氏名・学校名または所属先名
- ②自宅住所・電話番号(FAXの有無)・メールアドレス
- ③レポートタイトル
- ④使用する視聴覚器機(DVD、パソコン等)
- ⑤レポートの配布などに関して、個人情報保護の配慮が必要かどうか

<レポート担当> 全国訪問教育研究会 全国事務局 栗山 弘子 h-kuri@peach.ocn.ne.jp

●レポート発表に関して

・大会実行委員会で用意できる視聴覚機器は、原則として、プロジェクターとスクリーンです。パソコン、ビデオ、その他の機器を使用する場合は、各自でご用意ください。

会場で用意するプロジェクターの入力端子はミニD-Sub15ピンのみです。お手持ちのパソコンの出力端子がミニD-Sub15でない場合は、変換アダプターが必要です。



(ミニ D-Sub15 ピン)

パソコンに応じた変換アダプター (HDMI-VGA、MiNi Display Port-VGA、DVI-VGAなど) を必ずご持参ください。

・発表されたレポートは、全訪研研究集録「訪問教育研究 第33集」に掲載させていただく場合があります。原稿依頼を受けた際はよろしくをお願いします。

●大会参加者へのレポートの配布について

・各レポート配布はレポーターの判断を尊重します。個人情報保護の観点から、原則としては発表される分科会の中のみとなります。

(2) 全国交流会 (2/20 18:00~20:00)

交流会は、夕食をとりながら全国のみなさんとざっくばらんに話し、つながる場です。各地の苦労話や感動したことを話したり、分科会では聞けないとおきの話が聞けたりするかもしれません。どうぞ、みなさん、参加してください。（参加する場合、交流会費が必要です。）

(3) シンポジウム (2/21 10:10~11:30)

「沖縄県の訪問教育、これまでとこれから～医療・福祉・教育の連携～（案）」をテーマとして、地域との連携も含めて考えていきたいと思えます。シンポジストとして、保護者、医療関係者、教育関係者を予定しています。

■参加費■（※予定金額です。9月発送の開催要項で正式金額をお知らせします。）

	2月20日	2月21日
全訪研会員	2,500円	2,500円
一般	3,000円	3,000円
保護者・学生	1,000円	1,000円

■問い合わせ先■

※開催要項の詳細については、全国事務局長までお問い合わせください。9月に訪問学級設置校に開催要項を発送する予定です。

<全訪研会長> 榎木 暢子 kashiki.nagako.mc@ehime-u.ac.jp <全国事務局長> 長 正晴 chou_masaharu@yahoo.co.jp
--

○全訪研ホームページ <http://zenhoken.com>

全訪研に関するいろいろな情報が見られます。ぜひ、ご覧ください。